



## みんなのできる 地球温暖化防止活動

— 環境経済学で、「ごみワースト」に取り組んでいます!! —

※マークは県の地球環境保全のキャラクターです

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人つくしまNPOネットワーク)

### ■あだたらやまロープウェイ

福島大学経済経営学類教授の沼田大輔さんは、兵庫県明石市の出身です。「福島大学には2007年4月1日に着任しました。教員募集に応募し、面接の時に初めて福島に来ました。」旅行や散歩、新しいものが大好きといえます。「山岳ケーブルカーのあだたらロープウェイからの景色は素晴らしかった」など、福島の各地を堪能しているようです。「福島大学近くのコンテナカフェの立ち上げメンバーの一人でもあります」。

### ■一般廃棄物処理事業の実態調査

ごみって何ですかと質問しました。「一般廃棄物処理事業の実態調査では、一般廃棄物のごみとし尿です。一般廃棄物からし尿を除いたものがごみです」。2025年3月に発表された、2023年度のデータによると、福島県民1人1日あたりのごみ排出量は968gで、全国ワースト2位でした。全国平均は851

gです。「福島県民もごみを減らしているのですが、全国の減らし方に追いついていないようです」。ごみ排出量ワーストの原因は一つだけではなく、やるべきことをやっていないからではないかと、指摘します。

### ■環境経済学

沼田さんの専門は環境経済学です。「環境問題について経済学を使って考える学問です。なぜ人間の活動は環境問題を引き起こしてしまうのか、どうすれば環境問題を引き起こさない社会をつくることができるのかについて、学生と一緒に考えています。気候変動、廃棄物、生物多様性、森林、大気汚染、水質、公害、エネルギーなど広範囲です。環境経済学のことを、高校生にも分かりやすくまとめた動画をYouTubeに掲載しています」。

### ■みんなのできる地球温暖化防止活動

「ごみ問題は、地球温暖化にも関係があります」。ごみステーションから回収するときの輸送、焼却、排水処理、埋め立てで、二酸化炭素など温室効果ガスが発生しているからです。ごみ減量は地球温暖化防止活動なのです。沼田さんは家族の協力も得ながら、プラスチックや紙の分別排出に努力しています。「なるべく燃えるごみにしないことです」。プラスチックや紙を資源としてもう一度使えるようにすることが大事だと言います。資源として丁寧に循環させることです。

(Web) <http://fukushima-ondankaboushi.org/>